

# 大島直子 & テイモシー・カーター

(クラリネット) (ピアノ)

## デュオ・リサイタル

(クラリネット)

Naoko Oshima

Timothy Carter



歌うクラリネット、語るピアノ。  
心に寄り添う名曲たち。

シューベルト：アルペジオーネ・ソナタ イ短調 D.821

Schubert : Arpeggione Sonata in A Minor, D.821

ウェーバー：グランド・デュオ・コンチェルタント op.48

Weber : Grand Duo Concertant, op.48

お話し(小穴晶子 多摩美術大学名誉教授)

Talk by Akiko Koana Professor Emeritus of Tama Art University

シューマン：幻想小曲集 op.73

Schumann : Fantasy Pieces, op.73

バルトーク：ルーマニア民族舞曲

Bartok : Romanian Folk Dances

ポール・リード：ヴィクトリアン・キッチン・ガーデン組曲

Paul Reade : Suite from The Victorian Kitchen Garden

サン＝サーンス：序奏とロンド・カプリチオーソ op.28

Saint-Saens : Introduction and Rondo Capriccioso, op.28

2026  
**7.10** 金 19:00開演(18:30開場)

品川区立五反田文化センター

音楽ホール 全席自由 3,000円(消費税10%込)

一般発売日

4月1日(水)  
10:00am

お問合わせ  
お申込み

パシフィック・コンサート・マネジメント

03-3552-3831 (平日10:00~18:00 土日祝休)  
pacific-concert.co.jp

プレイガイド

■イープラス ■チケットぴあ [t.pia.jp](http://t.pia.jp) (Pコード:318-422) ■チケット

主催：パシフィック・コンサート・マネジメント

後援：株式会社パワート・ジャパン／一般社団法人日本クラリネット協会

※やむを得ない事情により、曲目等が変更になる場合がございますので、予めご了承ください。

※就学前のお子様のご入場・ご同伴はご遠慮ください。



大島直子(ピアノ)  
Naoko Oshima, Piano

©YOU

14歳で渡仏し、エコール・ノルマルでジャック・ジャンティに師事。帰国後、遠山慶子に師事。フェリス女学院の音楽科に入学し、山岡優子に師事。中退して再びフランスに渡り、イボンヌ・ロリオ、ジェルメーヌ・ムニエに師事する。フランスを代表する名ヴァイオリニスト、ジャン＝ジャック・カントロフと38回共演し、絶賛を博す。また妹の文子(クラリネット奏者)とのデュオは、アメリカのボードイン音楽祭、日本音楽コンクール、さらにベオグラードでのリサイタル、あるいはラジオ・テレビ出演などで聴衆に鮮やかな印象を与え、高い評価を確立した。また、スイスならびに日本におけるロームミュージックファンデーション音楽セミナーに専属伴奏者として毎年参加した。2005年より、毎年夏に北軽井沢において妹の文子とミュージックセミナーを開催している。姉妹デュオによるCDには、アメリカ人作曲家の作品を集めた「アメリカン・スナップショット」、日本の歌ばかり27曲を集めた「十五の心」、また最新盤には、世界的なクラリネットの名手であるチャールズ・ナイディックを迎えて2本のクラリネットとピアノのための作品集を収録した「イル・コンヴェーニョ」等があり、いずれも高い評価を得ている。現在に至るまで日本国内を始め海外でも意欲的な活動を続け、数々の演奏家の伴奏者、室内楽奏者として活躍している。



ティモシー・カーター  
(クラリネット)  
Timothy Carter, Clarinet

アメリカ東海岸のメイン州で生まれる。幼少期よりクラシック音楽に興味を抱くようになり、高校・大学とジュリアード音楽院に進む。在学中、ソリスト、室内楽奏者、またオーケストラのクラリネット奏者として、アメリカ・ヨーロッパ・日本など世界各地で演奏する。その中には、京都国際音楽学生フェスティバル、タングルウッド音楽センター、マルポロを含む数々の公演も含まれる。卒業後、名古屋フィルハーモニー交響楽団「首席クラリネット」のカーテン審査を合格、名フィルに入団。2007年から2009年まで、首席クラリネット奏者を務める。在籍中に、名古屋フィルハーモニー交響楽団、ウィーンフィルハーモニーの演奏者と渋谷オーチャードホールにて3度共演(トヨタ マスター プレイヤーズ)。その後、新日本フィルハーモニー交響楽団、紀尾井シンフォニエッタ東京等、様々な日本のオーケストラとゲスト首席クラリネットとして演奏。第24回日本管打楽器コンクール第2位入賞など数々のコンクールに入賞。また、ドイツのフライブルク国際音楽コンクール第2位入賞など数々のコンクールに入賞。そして、日本クラリネット協会主催の第8回日本クラリネットコンクール第1位。現在は神奈川に住み、桜美林大学、ブリティッシュ・スクール・イン・東京、フェニックスハウスインターナショナルスクール、ラグビー校の日本校にてクラリネットの指導を行う。最近では日本のみならずアメリカや中国でもクラシックソリストや室内楽奏者として招聘され、活発な演奏活動を行っている。またソロ奏者として、一般的なクラリネットのレパートリーのみならず、「マルチメディア」かつ「クラシックのクロスオーバー」な演奏会の開発にも注目している。さらに、クラシックの象徴的かつ感動的な作品の、クラリネットのための新しい編曲を自ら行っている。



小穴晶子(お話し)  
Akiko Koana, Talk

東京に生まれる。東京大学文学部(美学・芸術学専攻)卒業。同大学院博士課程単位取得退学。東京大学美学芸術学研究室助手を経て、1993年多摩美術大学専任講師。1999年同大学教授となる。現在、多摩美術大学名誉教授。専門は17-18世紀フランスの音楽美学。単著に『ヴェルサイユの祝祭』(春秋社、2024年)、『なぜ人は美を求めるのか』(ナカニシヤ出版、2008年)、編著に『バロックの魅力』(東信堂、2007年)、共著に『新モーツァルティアーナ』(音楽之友社、2011年)など多数。翻訳に、単訳『バロック音楽を読み解く252のキーワード』(シルヴィ・ブイスー著、音楽之友社、2012年)など。

東京に生まれる。東京大学文学部(美学・芸術学専攻)卒業。同大学院博士課程単位取得退学。東京大学美学芸術学研究室助手を経て、1993年多摩美術大学専任講師。1999年同大学教授となる。現在、多摩美術大学名誉教授。専門は17-18世紀フランスの音楽美学。単著に『ヴェルサイユの祝祭』(春秋社、2024年)、『なぜ人は美を求めるのか』(ナカニシヤ出版、2008年)、編著に『バロックの魅力』(東信堂、2007年)、共著に『新モーツァルティアーナ』(音楽之友社、2011年)など多数。翻訳に、単訳『バロック音楽を読み解く252のキーワード』(シルヴィ・ブイスー著、音楽之友社、2012年)など。



- JR山手線「五反田駅」徒歩15分
- 都営浅草線「五反田駅」徒歩15分
- 東急池上線「大崎広小路駅」徒歩10分
- 東急目黒線「不動前駅」徒歩7分
- 東急バス(大井町駅～渋谷駅)「大崎郵便局」下車 徒歩5分

会場までのアクセス

品川区立五反田文化センター  
〒141-0031 東京都品川区西五反田6-5-1